

VOICES of WOMEN in ENGINEERING

キャンパスで輝く
工学系女子を CLOSE UP!

2025

九州大学 工学部

KYUSHU UNIVERSITY SCHOOL OF ENGINEERING

C O N T E N T S

【工学系女子学生インタビュー】

- 01 工学部 材料工学科 4年
鈴木 万結さん
- 02 工学部 機械工学科 4年
大濱 佳乃子さん
- 03 大学院工学府 土木工学専攻
修士課程1年 木谷 心美さん
- 04 大学院システム情報科学府 情報理工学専攻
修士課程2年 徳益 晴香さん
- 05 大学院総合理工学府 総合理工学専攻
修士課程1年 大城 李桜さん
- 06 大学院人間環境学府 都市共生デザイン専攻
修士課程1年 一ノ瀬 珠里さん
- 07 女子が活躍するサークル紹介
九州大学鳥人間チーム・PLANET-Q
ヒューマノイドプロジェクト
- 【センパイのリアルキャンパスライフ】
- 08 九大工学系女子の1日に密着！
大学院工学府 船舶海洋工学専攻
修士課程1年 中野 瑞姫さん
- 10 伊都キャンパスガイドツアー
木付 遥子さん、谷口 舞さん、藤井 花帆さん
- 12 工学部生限定留学プログラム
【ELEP】
工学部 応用工学科 分子生命工学コース 4年
山根 舞香さん
【Q²PEC】
工学部 応用化学科 分子生命工学コース 4年
楠田 聖来さん

【工学系OGインタビュー】

- 13 ソニー株式会社 井上 千穂さん
- 14 住友金属鉱山株式会社 境 ゆうさん
- 15 三菱重工業株式会社 新本 みゆさん
- 株式会社 日建設計 阪口 麻梨子さん
- 16 株式会社建設技術研究所
MARCELLINA INGGRIDさん
- 九州大学 大学院 宮内 翔子さん
- 17 九大工学部・工学府女子の進路

【女性教員からのメッセージ】

- 18 大学院工学研究院 化学工学部門 教授
三浦 佳子 先生
- 大学院工学研究院 機械工学部門 教授
山西 陽子 先生
- 19 大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門 准教授
伊豫本 直子 先生
- 大学院工学研究院 地球資源システム工学部門 教授
沖野 奈緒子 先生
- 20 エネルギー研究教育機構 教授
林 灯 先生
- 大学院工学研究院 航空宇宙工学部門 教授
坂東 麻衣 先生
- 21 大学院工学研究院 環境社会部門 准教授
清野 聡子 先生
- 大学院工学研究院 応用化学部門 准教授
若林 里衣 先生



九州大学
大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長
山本 元司

女性の皆さん、とくに高校女子生徒の皆さん、九州大学工学部では女性の皆さんが工学分野を学ばれることを歓迎いたします。

近年、日本の大学の理系女子学生は徐々に増加してきていますが、残念ながら工学系学部においては女子学生の割合は決して高くありません。しかしながら、先端技術で日本を支え続けている産業界に目を向けると、例えば電機系企業、食品企業、化学系企業、その他多くの企業において、工学系出身女子学生の活躍が期待されています。これは女性の視点に立った工業製品やサービスを提供する必要が増えていることに加えて、多様な視点を取り入れることで新たな製品や付加価値が生まれるなど、女性研究者、技術者の活躍によって今までにないイノベーションが期待されるためです。今後も様々な価値観を尊重する企業活動が求められ、女子学生を採用する意欲が極めて高い状況が続くことが予想されます。

九州大学工学部においても女子学生数は年々増加しており、工学の新たな担い手として国内最大規模の伊都キャンパスにて最新設備を備えた世界屈指の教育研究環境のもと知識と技術の習得に励んでいます。九州大学工学部では北米及び豪州への海外短期留学プログラムや学生が自由にモノ作りに専念できる創造工房など魅力あるチャレンジの場を用意しております。現在、34名の女性教員(教授・准教授・助教)や、大学院博士課程、修士課程で研究を進めている多くの女子大学院生が在籍し、各学問分野において活躍しています。また工学部では2年後の2027年度入試から総合選抜型入試に女子枠を設定する予定となっており、より多くの女子生徒の皆さんに工学分野で学ばれることを希望しています。工学技術に興味があり、社会で活躍したいと考えている女性の皆さん、ぜひ、九州大学工学部で飛躍のチャンスを掴みませんか。



工学部
材料工学科 4年
鈴木 万結さん
英明高等学校(香川県)出身

散策が一番の楽しみ! 広々とした敷地を歩きながら、理系食堂でランチをしたり、図書館前のベンチでのんびり過ごしたりする時間が最高です。九創会®では起業家精神に触れ、亭々舎(ていていしゃ)では友達と会話がつきません。学びと交流にあふれた伊都キャンパスでの毎日は、刺激と発見に満ちた大切な時間です。

※未来の日本を支える人材育成のサポートを目的とした九州大学を卒業した創業者たちの組織



I LOVE
ITO CAMPUS

ものづくりを通して社会の構築に貢献したい

材料工学科を選んだのは、ものづくりを通してよりよい社会の構築に貢献したいという思いがあったからです。自分がどのような分野に興味を持っているのかを真剣に考える中で、機械、情報、建築など様々な工学分野に共通して不可欠な存在である“材料”の重要性に気づきました。新規材料の設計・応用には、これまでできなかったことを可能にする力があると感じ、材料という視点から工学の可能性を広げたいと思いました。

材料工学科の魅力は、材料分野を基礎から応用まで幅広く、かつ体系的に学べる点にあると思っています。特に九州大学の材料工学科は鉄鋼研究に長い歴史があり、その基盤の上に「冶金物

理化学」「構造用金属科学」「機能材料科学」という三つの分野を総合的に結びつけながら学習できるカリキュラムが整えられています。このような教育体制のもとで学ぶことで、材料に関する基礎的な知識をしっかりと身につけると同時に、自ら考え応用する力を養うことができます。

エネルギー材料工学研究室では、次世代のエネルギー技術の実現に向けて、無機材料の機能探究を行っています。将来は、材料工学の知見を計算化学と融合させることで、これまで実現が困難だった材料の機能を引き出し、あらゆる工学分野の可能性を広げる材料開発に貢献できる研究者になりたいと考えています。

そのときどきの環境の中で一生懸命取り組みたい

九州大学工学部には6つの「群」があり、なかでもⅥ群では、入学後に幅広い工学分野の基礎を学んだ上で、自分の興味に合った専攻を選ぶことを知りました。この柔軟な制度は、まだ進路に迷いがある学生にとって非常に魅力的で、Ⅵ群を受験しました。

私が所属している機械工学科の魅力は、大きく分けて2つあります。1つ目は進路の選択肢が広く、就職に強いという点、2つ目は多様な研究室が用意されていて、自分の興味やライフスタイルに応じた選択ができるという点です。

所属する生体熱工学研究室では、医学や生物学の分野にある課題を、工学的な視点から解決する

「生体工学」という分野に取り組んでおり、その中でも特に「熱」、つまりエネルギーのやりとりに関する現象を扱うことを得意としています。研究対象は幅広く、たとえば、がん細胞に電気をかけてダメージを与えるという、身体への負担が少ない治療法に関する研究や、腱や骨、軟骨といった体を支える組織の力学的な性質を調べる研究などが行われています。

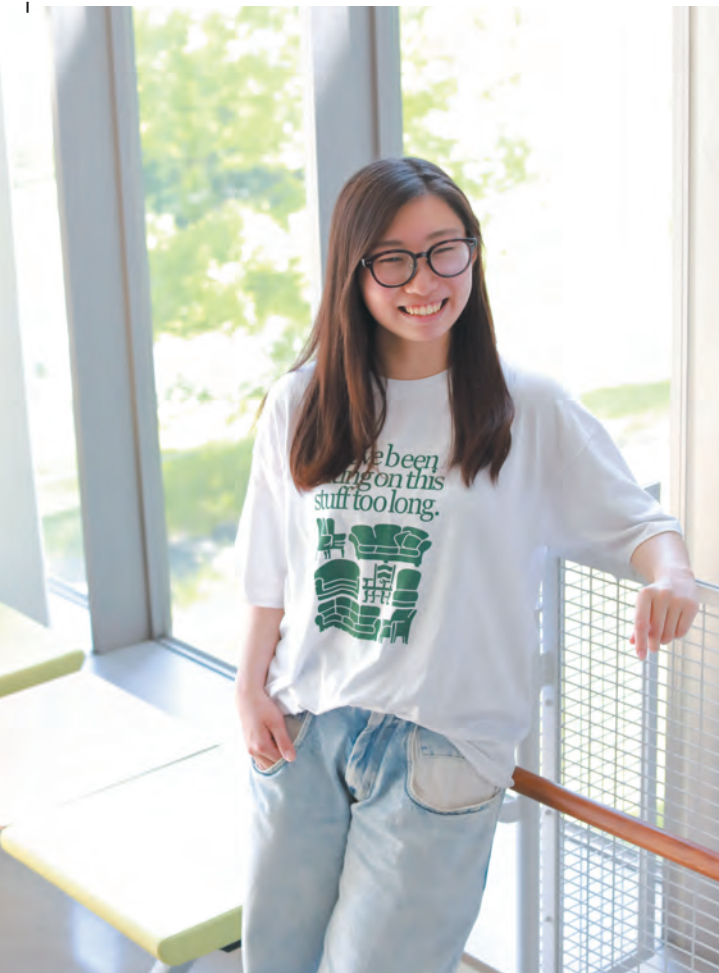
将来どんな道に進むのかはまだはっきりと決まっていません。それでも、そのときどきの環境の中で一生懸命取り組んで、自分が「面白い」「やってみたい」と感じる方向に進んでいけば、きっと何とかなると考えています。



工学部
機械工学科 4年
大濱 佳乃子さん
筑紫丘高等学校(福岡県)出身

MY FAVORITE

伊都キャンパスは、学食が充実。しっかり食べたい日は「ビッグどら」、ゆっくりしたい日は「E-café」と使い分けています。向かう前には、WEBでのメニューチェックも欠かせません。そんな私の最近嬉しかったことは、所属する囲碁部に新入生がたくさん入ってくれたこと!



大学院工学府
土木工学専攻
修士課程1年(工学部 土木工学科 卒業)
木谷 心美さん
熊本高等学校(熊本県)出身



FIND MYSELF

中・高とテニス部に所属していたのですが、大学では何か新しいことに挑戦したいと思い、ラグビー部のマネージャーになりました。ここで一生の仲間と出会え、自分が意外にも“お世話好き”であることも発見。4年間続けて、本当に良かった!

魅力は「地図に残る仕事」に携われること

幼いころから工作やもののづくりが好きで、高校時代には建築や土木の分野に興味を持ちました。私は熊本地震を経験し、当たり前だと思っていた生活は多くのインフラによって支えられていたことに気づきました。そのありがたみを強く実感し、人々の暮らしを支える土木という分野を学びたいと思い土木工学科への進学を決めました。

土木工学の魅力は「地図に残る仕事」に携われる点です。橋や道路、都市インフラといった大きな構造物を通じて、人々の生活を支える実感と大きなやりがいを得ることができるのが他分野にはない魅力です。

所属する建設設計工学研究室では、橋梁をはじ

めとした鋼構造物の腐食対策について研究を進めています。私は「溶射」と呼ばれる、鉄をさびから守るためのコーティング方法について研究しています。研究では、材料の防食性能を評価するために電気化学的な手法を用いたり、化学的な視点から腐食メカニズムを分析したりと、土木工学に加えて電気化学や材料科学といった幅広い知識を活用しています。

将来は、現在研究している鋼構造物の維持管理に関する知識と経験を活かし、社会インフラの向上に貢献したいと考えています。九州大学で得た学びや人との縁を大切に、社会に還元していきたいです。

様々な専門分野の最先端研究に携わるのが魅力

高校時代の企業見学で、高校範囲内の化学や生物の知識が開発の基盤になっていることを知り、開発の面白さを感じました。そこからなんとなく開発に携われる工学部に行くことを考えていました。

融合基礎工学科は、物質科学、材料工学、機械工学、電気電子工学、情報工学と、工学における幅広い分野の学問を学べる点が魅力的です。そのため、本学科の研究内容は多岐にわたっており、様々な専門分野の最先端研究に携わることができます。特に「興味のある分野が多すぎて定まらない」という人にはもってこいの学科です。

所属する熱エネルギー変換システム学研究室で

は、吸着ヒートポンプの研究をしています。皆さんが一度は見たことがある食品に入っている乾燥剤は、袋内の水分を吸収することで品質を維持しています。これを吸着現象と言います。この現象時に発生する熱量を用いて空調や給湯の運転が実用化できないかを研究しています。小さな乾燥剤が広い空間の温度を制御できるほどのポテンシャルがあるのはとても魅力的だと感じます。

将来は、この学科で培った幅広い分野の知見を駆使して、エネルギー・環境分野に精通する技術者になりたいです。そして、長期目標として地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に貢献したいです。

大学院総合理工学府
総合理工学専攻
修士課程1年(工学部 融合基礎工学科 卒業)

大城 李桜さん
沖縄尚学高等学校(沖縄県)出身



MY FAVORITE

知的好奇心を刺激する毎日です。鳥人間サークルで仲間と飛行機の製作に没頭しつつ、筑紫キャンパスの可愛い地域猫たちに癒されています。交通も便利で施設も充実しており、友人とのテニスやオープンキャンパスでの小学生向け体験授業も満喫。充実した九大ライフを謳歌しています！



大学院システム情報科学府
情報理工学専攻
修士課程2年(工学部 電気情報工学科 卒業)

徳益 晴香さん
青雲高等学校(長崎県)出身

MY FAVORITE

授業がある日は、キャンパス内の『中央図書館』か『理系図書館』にはほぼ毎日通っています。館内にはホワイトボードや大型モニターを備えた「グループ学習室」というスペースもあるので、試験前には仲間とここに集まってみんなで勉強。とにかく歩きます。

実社会に役立つ成果を生み出していきたい

小学校の頃からパソコンに触るのが好きだったのですが、高校時代に情報の授業で、簡単なプログラムを書いた際、とても面白く感じたことがきっかけです。その経験から、大学でもプログラミングに関わる学びや研究を深めたいと思い、この学科・専攻を選択しました。プログラミングだけでなく、ソフトウェア開発やAI、データ解析など幅広い分野を学べる点に魅力を感じています。特に実際に手を動かして、最新の技術に触れることができるプロジェクトが多く、実践的な力が身につくところが楽しいです。また、仲間と協力しながら課題に取り組む機会も多く、学びが深まります。

現在はソフトウェア工学・プログラミング言語研究室に所属して、AIがプログラムを書いたり、プログラムの間違いを見つけてよりよく直したりできるようにする研究をしています。例えば、異なる言語(日本語や英語など)でAIに入力した場合に、性能にどんな違いが出るのかを調査し、さらに精度を上げる仕組みを試行錯誤しています。将来は、ソフトウェア開発をAI技術の活用でもっと便利にし、世界中のエンジニアが効率よく高品質なシステムを作れるように支援する研究者になりたいと考えています。そのため、今後も最新技術を学び続け、実社会に役立つ成果を生み出していきたいです。

「人々の暮らし」そのものに迫る学び

幼少期、建築士である祖父の事務所や工事現場を訪れ、図面や模型に触れる中で、建物が少しずつ形になっていく過程に魅了されました。この経験が、ものづくりに対する憧れを育み、「空間をつくること」への興味が芽生えました。

都市共生デザイン専攻の魅力は、都市空間を通じて「人々の暮らし」そのものに迫る学びができる点です。都市デザインは工学だけでなく、芸術や心理学などの人文的な視点とも結びつきが深く、例えば建物の美しさの感じ方や人間の行動特性など、多角的に都市を読み解く必要があります。

私の研究室には都市が大好きな人が集まっている

ので、最近行った街の話で盛り上がったり、そこから派生して誰かの研究テーマに繋がったりと、自分の好きなものを研究している実感があり充実した研究室生活を送ることができています。

都市が効率や経済性を重視して画一化されていく一方で、小さな店舗や人々のふるまいが織りなす、偶然や多様性に満ちた都市空間も存在します。将来的には、そのような「まちの個性」も大切にしながら、人々の暮らしに寄り添う都市空間をデザインしたいと考えています。都市は人の営みとともにあるものだからこそ、人の行動や感性に目を向けた設計や計画が求められていると感じています。

大学院人間環境学府
都市共生デザイン専攻
修士課程1年(工学部 建築学科 卒業)

一ノ瀬 珠里さん
佐賀西高等学校(佐賀県)出身



MY FAVORITE

課題の締め切り前には、24時間利用できる製図室へ。夜中でも誰かが作業しているので安心です。提出が終わったら屋外の「森のテラス」でのんびり。キャンパス内のベーカリーで購入したパンを持ち寄って、みんなでピクニック気分を楽しんでいます。ちなみに、まもなく提携校があるベルギーへ留学予定。楽しみです。

女子が活躍するサークル紹介

九州大学には女子が活躍する文化系・体育系サークルがいっぱい！
輝く工学系女子のセンパイがいるサークルをPICK UP!

九州大学鳥人間チーム

鳥人間コンテスト優勝という夢を仲間たちと一丸となって追い続けます!

毎年夏に行われる「鳥人間コンテスト」に向けて、丸一年かけて部員全員で一機の滑空機を製作しています。2024年3位、2023年15位、2022年9位、2021年6位の実績があります。

自分達の手で翼幅およそ25mもの大きさの完全オリジナル飛行機を作り飛ばせようという、特大スケールかつ非日常的な経験ができるのが魅力です。

全体設計から機体内部の各パーツの構想まで、40年以上続く伝統技術と自ら持ち寄った独創的なアイデアを組み合わせることで具現化することができます。仲間と議論して構造を決定することも珍しくなく、人との信頼関係を築きながら、多彩な技術を学ぶことができます。



HP はコチラ ⇨



動画はコチラ ⇨



PLANET-Q

仲間と協力して試行錯誤を重ね、常に新しいことにチャレンジしています

2004年に設立された九州大学公認の学生宇宙開発サークルで、全国の宇宙系サークルと比べてプロジェクトが多岐にわたっていることが特徴です。「放課後は宇宙開発を。」をテーマに、ハイブリッドロケット、CanSat、スペースバルーン、モデルロケットの製作をしています。また、子供向けの講演会やモデルロケット講習会などの教育活動も行っています。

設立から20年近くが経過しますが、先輩からの技術の継承だけでなく、仲間と協力して試行錯誤を重ねながら新しいことにもチャレンジ続ける日々はとても充実しています。活動の幅が広く、自分の好きなことが好きなのでできることが魅力です。



HP はコチラ ⇨



動画はコチラ ⇨



ヒューマノイドプロジェクト

二足歩行ロボットの製作を通して、ものづくりの楽しさを実感しませんか

「二足歩行ロボットの製作を通じたものづくりの基礎知識・技術の習得」と「競技大会や科学イベントにおける他のエンジニアとの交流」を目的に活動しています。目標は二足歩行ロボットによる世界最大規模の格闘技大会『ROBO-ONE』優勝。

最大の魅力は、製作したロボット同士を戦わせる点です。自分の手で作り上げたロボットを操縦し、勝利したときは、思わず叫んでしまうほどの達成感があります。基本的に入部時点で電子工作やプログラミングの経験者はほとんどいません。しかし1年後には、そのほとんどがロボットを設計、制御できるだけの技術を身につけています。



HP はコチラ ⇨



動画はコチラ ⇨



九大工学系女子の1日に密着!

九州大学工学部に通う女子のセンバイたちはどんな大学生活を送っているの? 九大工学系女子の1日に密着取材!

大学院工学府 船舶海洋工学専攻 修士課程1年 中野 瑞姫さん 浪谷教育学園浪谷高等学校(東京都)出身

好きなことに夢中になれる、充実の毎日♪

昔から海や大きな建造物に興味があり、工学部を志望。入学後に幅広く学びながら、自分の進む学科を選べるという点に惹かれて、九州大学を選びました。現在は修士課程に進んで船舶海洋工学を専攻しており、将来は造船など海に関わるものづくりに携わりたいと考えています。キャンパスは緑に囲まれ、自然豊かな環境で学べるのも魅力。博多や天神にもアクセスしやすく、週末はケーキ屋さんでアルバイトをしたり、大好物のハンバーガー店を巡ったりして、オンもオフも充実しています♪



学生生活を支えてくれる
整った住環境

伊都キャンパス周辺には、学生向けの住まいが充実しています。私は朝・夕食付きのマンションに住んでいるので、朝ごはんをしっかりと食べてから出発。近から、通学も楽で助かっています!

模型船を使った
実験にチャレンジ

この日は実験棟へ直行。長さ約39m・幅約24mの大規模な船舶運動性能試験水槽で模型船を使い、船にどんな力が働き、どのように運動するのかを調べる実験を行います。体感できる学びが面白い!



8:30 実験開始



私の時間割はコレ!(修士1年春学期)

	月	火	水	木	金
1		量子物理学A			
2	船舶基本設計特論	海洋浮体工学特論	システム最適化特論	船舶抵抗推進特論第一	
3	研究室ミーティング	オートモーティブ社会科学概論	船舶用エンジン工学特論	船舶海洋構造力学特論	
4					
5				機械工学A	

英語で行われています。

※火曜と木曜は20:00~21:30で講義あり(国際海洋開発連携講義第一)
※オンデマンドの前期集中講義「溶接管理技術」も受講中

豊富な資料と
多彩なスペースで
使い方無限大!



理・工・農学部生向けの多彩な資料が揃う理系図書館。何かを調べたい時に立ち寄ったり、学習スペースで勉強したり。小説などもあるので、息抜きにもぴったりなんです。

明日も
頑張ります!!

バイク通学の学生も多くて、私もそのひとりです。帰宅後は、終わらなかった課題に取り組む日もあれば、大好きなゲームに没頭することもある。自分のペースで、充実した日々を過ごしています。



18:00 下校

17:00 理系図書館でリサーチ



研究室のソファで
ほっとひと息♪



15:00 ティーブレイク

リフレッシュしたくなったら、紅茶を片手に、大きなソファでゆったり寛ぎます。研究室は先生や先輩との距離が近く、相談しやすい雰囲気。自然と会話ははずみます。

マイデスクで
データ解析に着手

実験で得たデータを解析することも大事な作業。研究室のパソコンに向かい、先輩からもアドバイスをもらいながら、理論計算やシミュレーションなどに取り組んでいます。



13:00 研究室で作業

「E-café」で
ランチタイム!

12:00 ランチ&昼休み



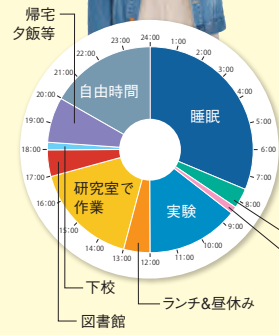
◀ねぎとろユッケ丼(560円)

◀アフガード(250円)

▼鶏照焼柚子胡椒パスタ(510円)



ランチスポットのお気に入りには「E-café」。お財布に優しい学生価格だし、パスタや丼などのメニューが週替わりで登場するので、飽きずに楽しめます。天気のいい日は、風が心地よいテラス席がおすすめ。友達とおしゃべりに没頭したい日は、デザートもつけちゃいます!



7:30 起床



Good Morning!!

私たちがガイドします!

雄大な自然に抱かれた広大な敷地に、世界トップレベルの研究設備を有する伊都キャンパス。まだまだ進化を続ける伊都キャンパスを、工学部のセンバイ3人が学生ならではの視点でご案内します!



大学院工学府
化学工学専攻 修士課程2年
木村 遥子さん
有明工業高等専門学校(福岡県)出身



工学部
量子物理工学科 4年
谷口 舞さん
倉敷南高等学校(岡山県)出身



大学院工学府
地球資源システム工学専攻修士課程1年
藤井 花帆さん
豊田工業高等専門学校(愛知県)出身

ITO CAMPUS

伊都 キャンパスガイドツアー

《aimo》

最適なルートや車両を割り出してユーザーを運送してくれるAI運行バス「aimo」を使えば、広いキャンパス内の移動も楽々。スマートフォンのアプリで配車ができます。

AI運行バスが便利!



8 E-café

キャンパスコモンそばにある学食&売店。8時から20時まで開いているので朝・昼・夕とお世話になる学生も。テラス席が気持ちいい!



研究室には女子が少ないので、昼休みに学食で会えると嬉しい! 午後はカフェとしても利用できます。



9 ビッグどら

工学部エリアにある大型の学食&売店で、昼休みになるとお腹を空かせた学生が大集合。



キャンパスコモン

工学部棟そばのグラウンド。天気の良い日は運動やピクニックが楽しめます。研究室対抗の野球大会やBBQなどが開催されることも!

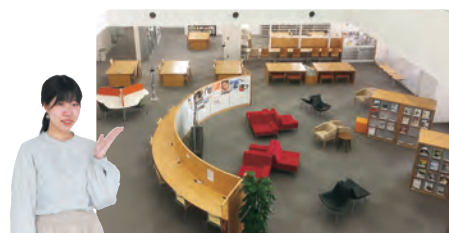


6 工学部棟(ウエスト2~4号館)

基幹教育期間中の初年次はセンターゾーン、2年次からは工学部の講義室・研究室が集まるウエストゾーンが学生生活の拠点に。高層の建物がズラリと並ぶ様はまるで未来都市!



2年次以降は、ほぼこちらの棟で過ごします。エリア内にはフード&ドリンク、文具、書籍、九大オリジナル商品まで豊富に揃う売店やコーヒー店もあって、とても便利です。



工学部エリアにある「理系図書館」は、工学部生にとって欠かせない場所。落ち着いた雰囲気なので、勉強に集中したいときにピッタリ。

5 水素ステーション

専門性の高い研究成果を社会で役立つものにしていくことも九州大学の使命。世界の環境問題の改善に期待が寄せられている水素研究に関しても、国内外から注目を集めています。



工学部教授で、「水素エネルギー国際研究センター長」を務める副学長が研究を牽引しています。水素自動車を使った実証実験施設は見学も可能です。
※見学は団体で、要事前申込み

START!



1

椎木講堂

九州大学の創立100周年を記念し、寄贈された講堂。約3,000人が収容できるコンサートホールでは、入学式や卒業式ほか、学会、講演などさまざまな催しが行われています。



2 ドミトリ

4つのドミトリ(学生寮)がある伊都キャンパス。個室タイプやシェアタイプなど、ニーズや予算に合わせて選べます。学部を超えた仲間を作りやすいところもポイント。遅刻の心配もありません!



3 イーストゾーン

2018年に開館した中央図書館や、2021年10月に開館したフジギャラリーなど、学生の知的好奇心を高めてくれる施設が集まっています。



中央図書館

350万冊の本が収容可能な国内最大規模の図書館です。専門書はもちろん、小説などの一般書も所蔵。本好きにはたまらない!



4

OG Interview

九州大学で学んだ知識やノウハウを活かして
輝き続ける OG のみなさん。
さまざまな分野で専門性を発揮しながら、
今日の日本の社会を支えています。

ソニー株式会社
商品設計第5部門 光学設計部3課

井上 千穂さん
大学院工学府
材料物性工学専攻 修士課程
2021年3月修了
工学部 物質科学工学科 卒業

交換式レンズ(一眼レフ、ミラーレス、局用レンズなど)の光学設計を行っています。同業他社から転職してきたばかりで現在は光学設計の修行中です。前職で得た光学の知識や周りの人々とのコミュニケーションの取り方は、現職でも最大限生かすことができています。

学生時代も課題解決に遭遇してきましたが、会社での課題は「突発的に発生」してかつ「タイムリミットが短い」ということ。クリアできなければラインが止まる、日程を遅らせるしかないという緊張感の中で課題を解決できたときは、かなりのやりがいを感じます。現在の仕事は大学時代の専攻とは大きく異なっていますが、体系的に学んでいた様々な知識が根底にあるおかげで、当時新しい分野に思えた光学分野の学習も点と点が線で結びつくように習得することができました。

突発的に発生したタイムリミットが短い課題を
解決できた時、とてもやりがいを感じます



工学部生限定

留学プログラム

2つの海外留学プログラムで、工学部生のグローバルマインドを育成。
支援体制が整っているため、初めての留学でも安心です。

ELEP

Engineering Leaders English Program
イーレップ

2〜3月にアメリカで1〜2週間程度実施。サンノゼ州立大学でのシリコンバレーに関する講義、日本語を専攻する現地学生との交流プログラムなどに参加します。また週に数回、シリコンバレーの企業や大学を訪問して、有識者から企業家精神を学びます。留学後は九州大学伊都キャンパスで仮想起業ワークショップに参加しデザイン思考を学びます。

視野を広げることの大切さを知った

アメリカでの出会いを通して印象的だったのは、熱いパッションを持っていてライフプランを長い目で見ている人が多かったことです。さまざまなバックグラウンドを持つ人々が集まるシリコンバレーで活躍されている方々のお話を聴いて、多様性を受け入れ柔軟に対応すること、そして自らの志にとことん向き合い自分の軸を持つことが、成功の秘訣だと感じました。また、快適な環境から出てみなければ分からない考え方があると知り、自分の身を置く環境を意識的に変えて視野を広げることが重要だとも感じました。



ファイナルプレゼンテーションの様子。
現地の学校でプレゼンテーション能力の向上を図る授業を受け、その集大成としてテーマを自分で選び英語で行いました。

工学部 応用工学科 分子生命工学コース 4年

山根 舞香さん

西南学院高等学校(福岡県)出身

留学先:サンノゼ州立大学(アメリカ)



Q2PEC

Qshu-Queensland Program for English Communication
キューベック

毎年8月末からオーストラリアで5週間実施。週5日間、午前中はクイーンズランド大学に附属しているUQ-Collegeで英語を習得。世界各国から宗教も言語も異なる学生が集まるため、国際感覚が磨かれます。午後は、クイーンズランド大学の工学系特別講義を受講し工学系研究室を訪問します。

留学体験がくれた自信と勇気

平日の午前中にある英語の授業の風景です。8人のクラスだったので4〜4に分かれてゲームやディスカッションを行いました。

工学部 応用化学科 分子生命工学コース 4年

楠田 聖来さん

ノートルダム清心高等学校(広島県)出身

留学先:
クイーンズランド大学(オーストラリア)



留学先ではクラスメイトの国籍や年齢がさまざま、それぞれが明確な目標や熱意を持っていることに感銘を受けました。環境の違いや英語力の差から最初の二週間は少し苦しい時期がありましたが、彼女たちの姿を見て頑張ろうと思えました。徐々に英語が聞き取れるようになり、出かけ先で積極的に話しかけることを意識してからは英語に少し自信が持ただけでなく、自分の積極性の成長を感じることができて非常に嬉しかったです。英語力の向上はもちろん、世界の広さや人間性の成長を感じることができたこの体験は、これから何か挑戦するときに自信となり勇気づけてくれると思います。





学生時代に学んだことをそのまま活かせる
そんな仕事にとってもやりがいを感じています

三菱重工株式会社

総合研究所 燃焼研究部 燃焼第二研究室

新本 みゆさん

大学院工学部 航空宇宙工学専攻 修士課程
2024年3月修了
九州工業大学工学部 宇宙システム工学科 卒業

さまざまなエンジンの燃焼器を対象とした燃焼数値解析に関する研究を行っています。具体的には解析精度や設計コストについて考えながら、新たな解析手法を検討しています。学生時代に学んだことをそのまま活かすことができるこの仕事にとってもやりがいを感じています。

研究所の魅力は様々な研究プロジェクトに参加して多くの成長する機会が得られる点です。

燃焼研究者が関わる製品として発電用エンジンや航空エンジンなどがありますが、研究所は事業部と異なり、一つの製品に絞られません。これから多くの研究プロジェクトに参加することで、成長を感じながら仕事に臨みたいのです。会社の先輩方に「学生時代に学んだ知識が無駄なことはない」とよく言われます。在学中にあふれている学ぶ機会を逃さず、多くのことを学んで社会で役立ててもらいたいです。



日本以外の同世代の人達と話をすることで
価値観が広がり、大きな刺激を受ける

住友金属鉱山株式会社

SMM Gold Cote Inc.

境 ゆうさん

大学院工学部
共同資源工学専攻 修士課程 2021年3月修了
工学部 地球環境工学科 卒業

住友金属鉱山は海外にいくつかの金および銅鉱山の権益を有しており、私はカナダ・コテ金鉱山の選鉱部門に勤務しています。2024年3月に生産を開始した新しい鉱山で、選鉱プラントの調査や試験業務を担当しており、選鉱プラント操業をどのように最適化させるか試行錯誤しています。

たくさんの同世代の技術者と一緒に働いており、女性の技術者も少なくありません。様々な国から人が集まっていて、日本以外の同世代の人達がどのようなキャリアを考えているのか、話しているだけでも価値観が広がり、刺激を受けます。

まだ入社して4年ですが、ひとりひとりに与えられる責任の大きさに緊張感を感じながら、優秀な技術者や経営者との仕事を楽んでいます。大学での研修等を通して、海外に行くこと、英語で会話することのハードルが下がったので、海外での仕事にも積極的に飛び込めています。

TOSHIBA



大学の実験等での仮説検証の繰り返しから
問題解決していく粘り強さを学びました

東芝エネルギーシステムズ株式会社

エネルギーシステム技術開発センター
化学技術開発部 化学管理・廃棄物処分技術担当

松山 加苗さん

大学院工学部
エネルギー・量子工学専攻 修士課程 2009年3月修了
工学部 エネルギー科学科 卒業

原子力発電所等の原子力施設で発生する放射性廃棄物を長期間安全に保管するための処理、処分に関する研究に従事しています。東日本大震災の被災地域の環境除染で集められた廃棄物の安全な処理に関する研究にも取り組んでいました。福島第一原子力発電所の汚染水処理等に関連する業務はプラントメーカーの使命と考えており、周りの皆も熱い想いを胸に取り組んでいます。研究の種から生まれた革新技術で、これからの原子力分野の課題解決に貢献していきたいです。

大学時代に実験等での仮説検証の繰り返しから問題解決していく粘り強さを学びました。エネルギー科学科特有の総合的な学びから、さまざまな学術分野が有機的に繋がっていることが見え始め、仕事での問題解決に必要な多角的な視点で物事を考えるきっかけになっていると思います。



自分が描いた図面が実際に目に見える形で
実現できたときはとてもうれしかったです

株式会社 日建設計

設計グループ

阪口 麻梨子さん

大学院人間環境学府
都市共生デザイン専攻 修士課程 2009年3月修了
工学部 建築学科 卒業

都市やまちのランドマークとなるようなパブリックな施設の提案ができる組織設計事務所でもオフィスビルの意匠設計の仕事をしています。一級建築士の資格を取得して、主に大規模複合再開発ビル設計の主担当を任されています。

建築設計の仕事は、見た目のデザインはもちろんのこと、都市や環境配慮といった大きな取り組み、お施主様の要望、法規制、構造、設備などさまざまな条件を整理してトータル的にデザインをする必要があります。苦勞も多いですが、自分が描いた図面が、実際に目に見える形で実現できたときはとてもうれしかったです。建築学科では、図面や提案書を作る実践的な設計課題の授業があったので、その時に学んだことは仕事にそのまま生かされています。学部4年生の時に描いていた、まちをより魅力的にしたいという自分の建築設計に対する姿勢はずっと変わっていません。



自分で調べたことが仕事の完成に役立ったとき
とても達成感があります

株式会社建設技術研究所
東京本社水システム部
株式会社建設技術インターナショナルより出向中

MARCELLINA INGGRIDさん
大学院工学府 土木工学専攻 修士課程 2023年9月修了
工学部 地球環境工学科 卒業

入社2か月時点の仕事は情報収集と発注者から貰った資料を整理することです。資料をまとめて、不足している情報をリストアップし、正式な依頼資料を作成。そのデータをもとにシミュレーションモデルが作成されます。

私が処理しているデータには多くの時間と労力がかかっています。非常に細かい調整について決断を下す必要がありますが、自分で調べたことが仕事の完成に役立つこともあり、そのときはとても達成感があります。

私は今、水システム部に所属していて、水にかかわる仕事に携わっています。河川工学の授業で学んだ流域や洪水などの理論は今の仕事にも活用しています。また、工学府ではArcGISの授業を受けましたが、現在の仕事でのデータ整理でもArcGISを使わせていただいています。

九州大学 大学院
システム情報科学府 情報知能工学部門

宮内 翔子さん
大学院工学府 情報知能工学専攻 博士課程 2018年3月修了
工学部 電気電子情報工学科 卒業

医療・福祉分野における支援システムの開発を目的として、AI技術やコンピュータビジョンを活用し、乳児を抱っこする際の姿勢をスマートフォンで撮影・分析し、適切な姿勢をガイドする育児手支援システムの開発や、3D形状解析技術やAI技術を組み合わせて多様な生体情報から病気や異常を検出する研究などを行っています。自身が興味を持って取り組んでいる研究が、社会的課題の解決につながっていく可能性がある点に魅力を感じています。

今後も医療や福祉分野に貢献できる研究を続けると同時に、研究成果を実生活に反映できるよう、社会実装を見据えた実用的な技術の開発にも携わっていききたいです。また、大学での教育活動を通して、学生さんに研究の魅力を伝え、次世代の研究者育成にも関わっていききたいです。

大学での教育活動を通して、
次世代の研究者育成にも関わっていききたい



九大工学部・工学府女子の進路

工学部を卒業したらどんなところに進むの？

大学院に進んだら、その先は？

気になる今年卒業のセンパイたちの進路をご紹介します！



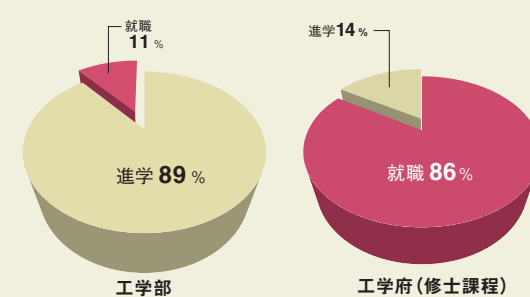
進路・就職のご相談は私たちに任せください

進路・就職相談室では、就職関連の情報提供から、専任アドバイザーによる進路・就職に関する個別相談まで対応しています。学年を問わず、気軽に利用できます。

進路・就職アドバイザー（伊都地区ウエストゾーン）

深尾 和一（フカオ カズイチ） 富田 智加子（トミタ チカコ） 内田 れい（ウチダ レイ）

進路



就職先例

※令和5年度実績
※企業名五十音順に掲載

【工学部】

NTTデータNJK、NTT都市開発、ネットイグル、ビズリーチ、五洋建設、佐賀電算センター

工学部女子の大半が、「さらに専門性を高めたい」と大学院への進学を選択。就職への道を選んだ学生は、専門知識を生かし、官公庁やメーカーなどを中心に就職しています。

【工学府 (修士課程)】

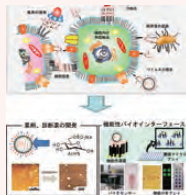
アクセンチュア、旭化成、アステラス製薬、ADEKA、伊藤忠テクノソリューションズ、宇宙航空研究開発機構、川崎重工業、京セラ、SUMCO、JFEエンジニアリング、シスメックス、島津製作所、SCREENセミコンダクターソリューションズ、住友化学、全日本空輸、デンソー、東ソー、東レ、日東電工、日本工営、日本触媒、パナソニック、パナソニックコネク、福岡市、ボストン・コンサルティング・グループ、マツダ、三井化学、三井住友建設、三菱ケミカル、三菱重工業、三菱商事、三菱電機、三菱マテリアル、レゾナックほか

大学院で専門性を高め、広い見識を武器にさまざまな企業・研究機関に就職しています。もちろん、さらなる高い研究領域を求め、博士課程へと進学するセンパイも！

現代社会は工学の知識と技術の結晶。夢を実現するチャンスがここにあります

携帯電話、コンピュータ、化粧品など、現代の豊かなくらしは工学の知識と技術の結晶から成り立っていると一言でも過言ではありません。工学部で学ぶことで、理科の基礎を社会に役に立てるための術を勉強することができます。私も自分のアイデアを世界に発信することを目指して理工系を目指しました。

現在は、ナノテクノロジーを用いて、高分子に特別な機能を持たせて、タンパク質や病原体を検出・除去する技術の開発を行い、病気の早期発見のために役立てることを目指しています。九州大学では幅広い工学分野に関する基礎知識や最新のテクノロジーを学ぶことができます。皆さんも自分の興味や関心を社会で実現する力を身に付けてみませんか？



病原体を検出・除去する材料を開発



三浦 佳子 先生
大学院工学研究院 化学工学部門 教授

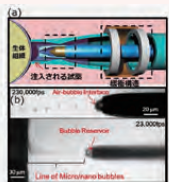
Profile

京都大学大学院工学研究科博士課程修了。アメリカ・ペンシルバニア大学化学科博士研究員、名古屋大学大学院工学研究科助手、北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科准教授を経て、2010年より現職。

他人と異なることを恐れずに、自分で研究領域を見つけてもらいたい

現在、気泡の圧力によって試薬や遺伝子を体内に届ける「針なし気泡注射器」の実用化を目指しています。このインジェクション(注入・注射)技術は、動・植物細胞への遺伝子導入や負担を軽減する低侵襲治療、熱くないプラズマ医療などへの応用が可能です。また、硬くて削れなかった金属を加工する装置など、貢献できる分野は医療・バイオ科学に留まりません。

本学の工学部は男子学生が多いですが、グループワークがあるため、女子学生も自然と場に溶け込める環境です。大学卒業後に様々な分岐点がある女性にとって、一生続けられる仕事を持つことはとても大切。周りの意見に流されず自分で研究領域を打ち立て、オンリーワンの技術を身につけてもらいたいと思います。



高速発射した気泡をハイスピードカメラで捉えた写真など



山西 陽子 先生
大学院工学研究院 機械工学部門 教授

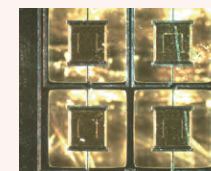
Profile

ロンドン大学インペリアル・カレッジ機械工学科熱流体専攻PhDコース修了。東北大学大学院工学研究科バイオロボティクス専攻 助教、名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノシステム工学専攻准教授、芝浦工業大学工学部機械工学科准教授などを経て、2016年より現職。

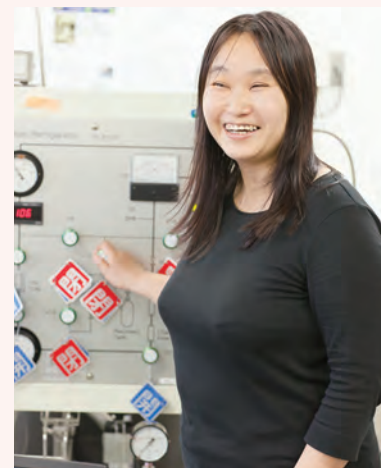
放射線検出器の精度を向上して、産業応用や基礎科学の研究に役立てる

放射線のエネルギーを優れた精度で計測できる検出器を開発しています。放射線のエネルギーを測定するとどんな原子や原子核がどこにどれだけあるかの情報が得られるため、放射性物質の検出の他、さまざまな分析や基礎科学など多くの分野で役立ちます。

工学は、理系の知識を応用して、社会で役に立つものをつくり出す学問です。量子物理工学科では物理、数学などの理系科目を体系的に学び、4年生からはそれを活用して研究を始めます。さらに、多くの人が大学院の修士課程に進学してより本格的な研究生生活を経験して就職していきます。理系の科目が好きで、新しいものをつくり出すことに興味がある人は、ぜひ工学部を目指してください。



1mm程の非常に小さい範囲に並ぶ4個の放射線検出器



伊豫本 直子 先生
大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門 准教授

Profile

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。アメリカ・ジョンスホプキンス大学Associate Research Scientist、東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻特任准教授を経て、2010年より現職。

極限微生物の神秘とそれを利用するバイオテクノロジーの世界に夢中です

大学4年生で所属した研究室で極限微生物の世界に出会い、更に留学先の博士課程で専門としたバイオハイドロメタラジ(微生物学的湿式製錬学)が自分の一生を決めるきっかけとなりました。今でも微生物の神秘とそれを利用して新しい技術を創るバイオテクノロジーの世界に惹かれ続けています。

現在、私の研究チームでは、金属代謝能を有する微生物のユニークな反応を活用することで、金属資源の回収や金属汚染水の浄化に関する研究に取り組んでいます。微生物を鉱業やそれに伴う環境汚染問題に応用する研究は、複数の学問が絡み合うとても面白い分野です。人生は一度きりです。女子学生の皆さんには妥協せず、自分の興味に向かってまっすぐに進んで欲しいと思います。



冲部 奈緒子 先生
大学院工学研究院 地球資源システム工学部門 教授

Profile

大阪大学大学院工学研究科修士課程修了。イギリス・ウェルズ大学生物科学科博士課程修了。ドイツ、オーストラリア、イギリスでの研究職、(財)地球環境産業技術研究機構勤務、2011年より九州大学准教授を経て、2023年より現職。



林 灯 先生
エネルギー研究教育機構 教授

Profile

アメリカ・カリフォルニア大学デービス校化学博士課程修了。株式会社豊田中央研究所、物質・材料研究機構、産業技術総合研究所などの研究員、名古屋工業大学デュアトラック助教、九州大学水素エネルギー国際研究センター准教授を経て、2015年より同センター教授。2017年より現職。

水のみを排出するエコな水素燃料電池のナノスケールの材料設計を行っています

現在は、水素を燃料として水のみを排出するエコな燃料電池の研究をしています。燃料電池自動車や家庭用燃料電池のエネルギーファームに使われる電池です。その中でも、最も性能を左右する電極触媒部分を専門に、ナノメートルという非常に小さなスケールからの材料設計を行っています。

私はもともと英語が得意だったので文系に進む予定でしたが、アメリカの大学に進学して改めて「好きなことをしよう」と思い、化学の道を選び、博士課程に進み、今に至ります。

九州大学工学部の女子学生の皆さんは、元気がかわいくて、無限の可能性を持っていると思います。九州大学工学部で学び、日本の将来を担う女性研究者になりましょう!

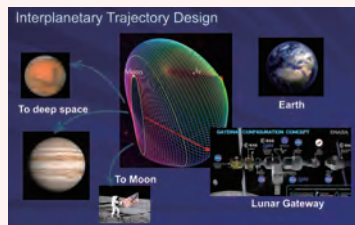


ミニチュアの燃料電池自動車(左端)、電極粉末材料(右端)など

最先端の宇宙ミッションに関わることができます。

軌道工学という深宇宙探査機の軌道を計算する研究を行っています。力学や数学、最適化や制御工学などの知識を駆使することで、最先端の宇宙ミッションに関わることができます。昔から力学が好きで、宇宙機が天体が作り出す重力場を転がるように進んでいくイメージをしながら、日々軌道工学の研究をしています。

高校生の時の自分の未来には想像できなかったのですが、研究という共通言語で世界中の研究者と通じあうことができたと感じる瞬間は最高に楽しいです。ぜひ生きがいになるような興味を見つけてください。自分が好きなもの追求することを選んだ先には、好きなものを選んでよかったと思える未来が待っていると思います。



深宇宙探査機の軌道設計



坂東 麻衣 先生
大学院工学研究院 航空宇宙工学部門 教授

Profile

京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻博士後期課程修了、ノースウェスタン大学博士研究員、宇宙総合学研究ユニット特定助教、九州大学工学研究院航空宇宙工学部門助教、准教授を経て、2022年より現職。

自然や旅行が大好きなアウトドア女子を待っています!



清野 聡子 先生
大学院工学研究院 環境社会部門 准教授

Profile

東京大学大学院農学系研究科水産学専攻修士課程修了、同総合文化研究科広域科学専攻助教を経て現職。専攻は生態工学、環境保全学など。日本海洋学会環境科学賞、土木学会デザイン賞グランプリ、日本沿岸域学会出版文化賞受賞。2010年より現職。

自然と共生する持続可能な社会が求められています。豊かで安全安心な「人間の生息地」を開発できた技術は、自然環境や生態系を守るためにも役立つことがわかってきました。

私の研究室のテーマは、海岸・海洋・河川の生態工学。干潟や砂浜の生物多様性・生息地の保全や再生、流域の水資源管理と地域社会、漁場管理、環境法制度など、生態系と人間が共生する社会をつくる工学です。海洋教育、ユース育成にも取り組んでいます。自然保護と防災、経済の両立は、今や国際的にも最重要な問題です。多様な立場や世代の人たちの参加は、社会を活性化させます。足元から問題解決をしていく、明るく元気で熱心な学生さんを待っています。アウトドア系女子が活躍できる研究分野です!



保全状態が良好な砂浜
(五島列島福江島、西海国立公園)

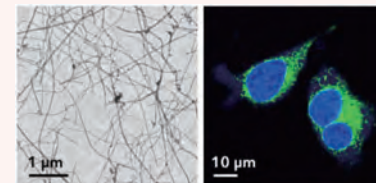


院生との砂丘の海岸侵食調査
(糸島市幣の浜)

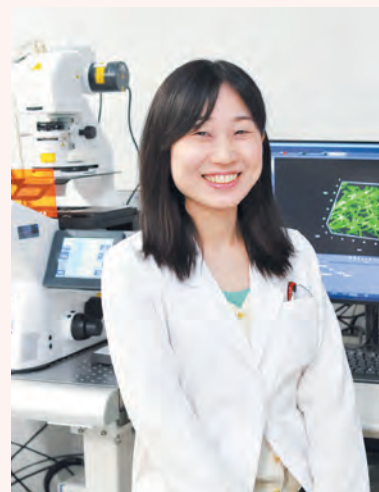
自分がデザインしたものを自分の手でつくり、その機能を調べる化学の分野に魅力を感じる

自己組織化という、小さな分子が自然に寄り集まって大きな構造を形成する現象を使って、体内の望みの箇所に薬物を届けるドラッグデリバリー材料を創る研究をしています。自分でデザインしたものを自分の手でつくり、その機能を調べることができる化学の分野に大きな魅力を感じています。

工学というイメージからは想像できないような研究分野も工学部にはたくさんあります。どの研究分野でも、ひとつのことを知っていれば良いものではありません。科目としての得意・不得意でなく、是非興味のある分野について調べてみてください。知れば知るほど好きになり、気づいたらどっぷりハマっていた、という人生は、とても楽しく充実したものになると思います。



創り出した分子集合体の電子顕微鏡写真(左)
細胞に作用させた際に取り込まれて緑色蛍光を発している蛍光顕微鏡画像(右)



若林 里衣 先生
大学院工学研究院 応用化学部門 准教授

Profile

九州大学大学院工学部物質創造工学専攻博士後期課程修了、ノースウェスタン大学博士研究員、九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点特任助教、九州大学大学院工学研究院応用化学部門助教を経て、2023年より現職。



VOICES of WOMEN_{in} ENGINEERING



九州大学 工学部

〒819-0395 福岡市西区元岡744

<https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>